

令和7年8月号

川越セントノア病院 〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂290-2  
TEL049-238-1160 FAX049-238-1162 <https://www.saintnoah-kawagoe.jp>



# ノアの爽風



～目次～

- 病院短信『带状疱疹ワクチンについて（続き）』  
3病棟担当医師
- 看護日誌
- 介護だより
- 日常の一コマ
- 『痩せる・・・』  
主演 ナナ

## 8月の予定

### ◆誕生日会（スイカ割り）

1病棟: 8日（金）14:15～  
2病棟: 7日（木）14:00～  
3病棟: 6日（水）14:00～

各病棟にて



## 病院短信

### 3病棟 担当医師

『带状疱疹ワクチンについて（続き）』

令和6年9月号の病院短信で、带状疱疹ワクチンが定期接種に追加されることに触れました。令和7年度となり各自治体から接種についてホームページ等で案内がされるようになります。

定期接種の対象年齢は令和7年度は、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳100歳を迎える方、101歳以上の方

誕生日では次の表になります

| 年度末年齢年齢 | 誕生日                 |
|---------|---------------------|
| 65歳     | 昭和35年4月2日～昭和36年4月1日 |
| 70歳     | 昭和30年4月2日～昭和31年4月1日 |
| 75歳     | 昭和25年4月2日～昭和26年4月1日 |
| 80歳     | 昭和20年4月2日～昭和21年4月1日 |
| 85歳     | 昭和15年4月2日～昭和16年4月1日 |
| 90歳     | 昭和10年4月2日～昭和11年4月1日 |
| 95歳     | 昭和 5年4月2日～昭和 6年4月1日 |
| 100歳    | 大正14年4月2日～大正15年4月1日 |
| 101歳以上  | 大正14年4月1日以前に生まれた方   |

年度末年齢が65歳以上で令和7年度の上記の対象とならない方は、令和8年度以降となります。带状疱疹ワクチンには2種類あります。

#### ① 生ワクチン 1回接種

| 主な副反応の発現割合 | 生ワクチン                 | 組換えワクチン           |
|------------|-----------------------|-------------------|
| 70%以上      | —                     | 疼痛*               |
| 30%以上      | 発赤*                   | 発赤*、筋肉痛、疲労        |
| 10%以上      | そう痒感*、熱感*、腫脹*、疼痛*、硬結* | 頭痛、腫脹*、悪寒、発熱、胃腸症状 |
| 1%以上       | 発疹、倦怠感                | そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛  |

（厚生労働省のホームページから）

#### ② 組換えワクチン 2回接種（2回目は1回目

から通常2か月あけて）

それぞれの効果については

| 带状疱疹に対する効果 | 生ワクチン     | 組換えワクチン   |
|------------|-----------|-----------|
| 接種後1年時点    | 6割程度の予防効果 | 9割以上の予防効果 |
| 接種後5年時点    | 4割程度の予防効果 | 9割程度の予防効果 |
| 接種後10年時点   | —         | 7割程度の予防効果 |

（厚生労働省のホームページから）

効果から見ると組換えワクチンが優れているようです。

次に自治体からの助成金です。

自治体によって異なります。自己負担額で表示されている例では、①生ワクチン 5060円、②組換えワクチン一回につき15080円です。

助成額を示している例では、①生ワクチンで5000円、接種料金は接種実施協力医療機関により異なるので差し引き自己負担額は3000円～5000円、②組換えワクチンで1回につき10000円で差し引き自己負担額は10000円～15000円です。

実際には、接種を受ける方の在住する自治体のホームページ等で確認をお願いします。

多くの自治体から対象者に案内のリーフレットを送付しているようです。

また、実施医療機関は自治体のホームページ上にリストが掲載されていることが多いようです。予約の必要の有無も、確認をお勧めします。



## 日常の一幕

今月は3病棟の慶子さん（93歳）です。

慶子さんは山口県出身で3人兄弟の3番目として産まれました。奈良の大学を卒業後は、中学校の理科の先生として働いていました。24歳の時にご結婚され、その後はご主人の転勤で上京し、2人の娘さんを育ててこられました。娘さんは、「家庭的な母で、自分が着る服を何着も作ってくれました。フランス刺繍もプロ級でした。」とお話してくれました。

85歳の時にご主人が亡くなってからは、徐々に物忘れ等が多くなり、「財布や鍵がない」と娘さんたちに頻繁に電話するようになり、病院の精神科で認知症の診断を受けましたが、デイサービスに通いながら問題なく一人暮らしを楽しんでいました。しかし、87歳頃から認知症状は進行し、料理や入浴が1人では難しくなってきました。92歳の時に自宅で動けなくなり次女さんに電話で助けを求めたところ、右大腿骨頸部骨折と診断され手術を受けました。入院中に認知症が進行し大声を出したり、車いすでの徘徊等があり、自宅への退院や施設への入所は難しく、令和6年5月に当院へご入院となりました。

入院当初、日中はテレビを見たり、レクリエーション活動に参加し落ち着いて過ごされていましたが、夜になると帰宅願望として自宅の戸締りが気になったり、自分の携帯電話や荷物を探したりと落ち着かなくなっていました。その時にご家族の用意してくれたアルバムや手紙を見てもらったり、慶子さんの趣味である「謡」（うたい、能の音楽）を披露してもらったりして、落ち着きを取り戻してもらっていました。今ではレクリエーション活動の時に大きな声で答えたり、歌ったりと笑顔がたくさん見られています。娘さんがご面会に来た時も、嬉しそうにおやつと一緒に食べています。これからも慶子さんが笑顔で過ごせるよう見守っていききたいと思います。

## 看護日誌

8月に入り、いよいよ夏本番を迎えます。8月10日は810「ハート」と読めることから健康ハートの日と言われています。心臓は1日に10万回動き、寝ている間も休むことなく働き、全身に酸素と栄養を送り続ける大切な臓器です。夏の暑さは心臓に大きな負担をかけ、脱水症状や熱中症・血圧の変動を引き起こし、心臓病のリスクが高まります。健康な夏を過ごすためには、十分な水分補給・涼しい環境を保つ・定期的な体調チェック・バランスの取れた食事・適度な運動を心がけましょう。また、毎日休みなく働いている心臓を思いやり、秋に不調を残さないようにしたいですね。

## 介護だより

今年は6月後半から気温が35℃くらいになる日があり、とても長く暑い夏になっています。病院で生活している患者さんに季節を感じてもらいたいと考えていますが、炎天下で屋外のレクリエーションや散歩は難しいので、夏の音楽を聴いていただいたり、花の写真を見てもらったりして、少しでも楽しんでもらいたいと考えています。また、8月の誕生日会にて、「スイカ割り」を予定しているの、夏を感じていただければと思っています。